國學院大學学術情報リポジトリ

『史学研究集録』既刊目録

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-02-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 國學院大學大学院史学専攻大学院会 メールアドレス: 所属:
URL	https://k-rain.repo.nii.ac.jp/records/1654

『史学研究集録』既刊目録

第一号（一九七一・三）※在庫なし

創刊にあたって「心の鏡に」　樋口誠太郎
老春の繰りごと　桑田　忠親
一つを貫ぬく　大場　将雄
入るは易く出ずるは難し　坂本　太郎
同名異人その他　石田幹之助
読史妄想　藤井　貞文
行善についての覚え書　鈴木　靖民
本学で学んだもの　二木　謙一
和名類聚抄における朝鮮地名　相宮　諒一
東山期における一武将の故実観　樋口誠太郎
明治五年前後の宗教自由論　佐野　和史
戦国大名権力構造研究への一私案　横田　信義
景行紀十二月十一日条の記載分析　野口　武司
研究の現況報告　伊藤　勇人
菅原道真の左遷と藤原菅根　下村　效
昭和四五年度古代史研究会のあゆみ　和田　一郎
戦国時代水軍研究二～三の問題　真壁　俊信
細川忠興書状　宇田川武久
東四柳史明　私の研究と今後の方向性について　山本　謙清
群馬事件の社会経済的背景　石原　征明
尾張に於ける地域分権の成立　杉村　豊
昆崙～古代支那人の世界観形成への一考察　山口柚美子
戦国時代城館と城下町の研究（展望と課題）　山本　実
織田信長政権の研究動向　杉村　豊
戦国時代水軍研究の問題点　宇田川武久
戦国大名の外交と使者の活動　横田　信義
境町衆の研究動向と問題点　桜井　憲弘
史学大学院会第一回講演記録（文責）　石川　晶康
私の研究の視点　蒲生真沙雄
大宝戸令の二つの条文　河野　徹
平氏研究の動向について　井込　仁
研究課題　佐々木久彦
文様についての考察　鈴木　真弓

第二号（一九七三・三）※在庫なし

第2号の発刊を祝つて　桑田　忠親
刑部親王試論　山本　謙清
伊予国の地頭御家人忽那氏について　石野　弥栄
江戸町奉行の初期形態について　蒲生真沙雄
山形地方の明治神道―佐伯菅雄の活動を中心として　佐野　和史

第三号（一九七八・三）※在庫なし

戦国大名と神社―一宮・惣社をめぐって― 加藤　哲

〔研究ノート〕

斎王群行と北辰祭について 佐々木久彦

増穂残口小伝その（一） 鈴木　真弓

第四号（一九七九・三）※在庫なし

八世紀初期における大宰府の役割について 黒髪　和裕

藤原実資考―子立后奉仕に際して― 関口　力

阿弥陀寺過去帳をめぐって―本能寺雑考― 渡辺江美子

豊臣秀長と徳川家康 三浦　宏之

第五号（一九八〇・三）※在庫なし

摂津守護代家長塩氏の動向と性格 横尾　國和

雑戸の改姓について 鈴木　郁彦

律令制下の祝部等入京の起源について 渡辺　晋司

ジャワ・サンギラン・フレイク・インダストリーに代表される、東南アジアのフレイク・インダストリーに関する一考察 小野田正樹

〔研究ノート〕

初期稲作文化に関する二、三の問題 横倉　雅幸

〔資料紹介〕

東北歴史資料館蔵石母田文書能楽関係史料について 鈴木　正人

第六号（一九八一・三）※在庫なし

長野県秋山郷小赤沢における焼畑耕作の調査 横倉　雅幸

軍団兵士制について―兵士役務を中心として― 中田　勝美

桓武朝における兼官についての一考察 高田　淳

東朱雀大路小考 鈴木　進一

幕末維新期に於ける津軽藩の動向―戊辰戦争を中心として― 工藤　威

〔研究ノート〕

立野春節と延喜式雕板 下條　正男

第七号（一九八二・三）※在庫なし

阿玉台式土器の分布とその問題点 池田　晃一

稲作起源論への疑問―特に収穫具を中心として― 横倉　雅幸

事力に関する一考察 斎藤　和彦

近世後期常陸国南部地域の農村構造―仙台藩領信太郡実穀村の事例― 永井　博

〔索引〕

平安時代古記録年次別人名索引（一）

第八号（一九八三・三）※在庫なし

縄文時代の貝塚分布からみた海岸線と漁撈活動の復元
—特に古川谷を中心として—　山﨑　京美

摂津桜井谷古窯址群に於ける須恵器生産　木下　亘

健児制についての再検討
—平安期健児制を中心として—　永井　肇

足利義持・義教期における一色氏の一考察
—一色義貫・持信兄弟を中心として—　高橋　修

第九号（一九八四・三）※在庫なし

墳頂部に配置された埴輪について　稲村　繁

南関東地方の甲冑出土古墳の性格　古谷　毅

令制監物に関する覚書　平野　卓治

承久の乱における院方武士の動員についての概観　平岡　豊

当道座と箏曲、三絃の普及　畑　尚子

〔研究ノート〕

賦役令水旱条についての覚書　大関　邦男

桓武天皇の親王について　高田　淳

第十号（一九八五・三）※在庫なし

古代史を貫く一本の家系
—郡の主帳から大納言まで—　林　陸朗

三田氏と宗長　米原　正義

本居宣長と『新安手簡』　宮崎　道生

鈴形銅器考　井上　洋一

茨城県地方における方形周溝墓の出現とその性格　塩谷　修

茨城県霞ヶ浦北西部における前方後円墳の変遷
—埴輪を中心として—　稲村　繁

日本古代における「皇帝」称号について　長瀬　一平

文献記載の挂甲に関する一試論　近藤　好和

広瀬淡窓著『読論語の諸本について』　三澤　勝巳

奥羽鎮撫副総督沢為量の函館渡海問題
—津軽藩の対応を中心として—　工藤　威

第十一号（一九八六・三）※在庫あり

古墳出土の鉄製雛形農耕具について　三木　弘

底部再調査を施す須恵器について
—武蔵国の例を中心に—　英　太郎

「家牒」と家令制
—八世紀における「家の文書」・「宅の文書」—　尾上　純一

中世山城の堀切に関する一考察　佐脇敬一郎

房越同盟に関する一考察　竹原　健

第十二号（一九八七・三）※在庫あり

撚糸文系土器様式の成立に関する問題　谷口　康弘

盤状集積葬考　上敷領　久
摂関時代の楽所の職員について　永田　和也
二十二社制の成立に関する覚書
―松尾社を中心に―　松原　誠司

第十三号（一九八九・三）※在庫僅少

中国東北地方博物館瞥見記　三木　弘
八丈島倉輪遺跡における条溝砥石について　本橋恵美子
建武政権における安堵の特質
―雑訴決断所設置後を対象として―　長又　高夫
平安時代儀式書関係文献目録　神谷　正昌

第十四号（一九八九・三）※在庫あり

土壙検出の大型粗製石匙について　上敷領　久
平安時代初期における国分寺の様相　原田　和彦
武蔵守護代大石氏に関する二、三の考察
―信重・憲重を中心に―　岩崎　学
江戸時代の瓦における江戸式の展開　可等　晃

第十五号（一九九〇・三）※在庫なし

地域的にみた茨城県下の横穴墓群
―玄室形態を中心に―　米川　仁一
岐阜県における歴史時代土器編年の再検討
―特に八・九世紀の集落址出土事例を中心として―　江口　桂
九世紀の儀式と天皇　神谷　正昌
甲・越同盟の一考察　須藤　茂樹

第十六号（一九九一・三）※在庫なし

わが久高　桜井　満
未知との遭遇　小川　信
中国東南沿岸地域の先史文化
―福建・曇石山文化を中心に―　後藤　雅彦
太元帥法の請来とその展開
―入唐根本大師と第二阿闍梨寵寿―　佐藤　長門
戦国大名今川氏の寺社保護政策
―特に造営を中心として―　長谷川弘道
近世中・後期における村財政について　紫芝　昌子

第十七号（一九九二・三）※在庫あり

歴史地理学と考古学
―丸芝武重・乙益重隆両先生を追想して―　木下　良
島のイノシシ　永峰　光一
「甕壺」・「壺甕」考　小林　青樹
埴輪倒立技法の問題点　小栗　明彦
東日本における装飾横穴の再吟味

—装飾横穴研究における新たな方向性の模索—　米川　仁一
「長屋王家木簡」にみえる家政機関
—研究動向を中心に—　平石　充

第十八号（一九九三・三）※在庫あり

山上宗二のこと　米原　正義
中国における土器の起源と発展
—早期土器の容姿—　胡　江
「臨時官司」としての遣唐使について
入唐僧（生）をめぐる諸問題
—平安時代を中心として—　富井　修
天文期室町将軍家側近朽木稙綱の動向　田中　史生
済南事件と排日運動　岩片　寿広
宇田川知己

第十九号（一九九四・三）※在庫あり

史学科と私　渡辺　友市
二宮大饗の成立と背景　田村　葉子
江戸幕府高家成立に関する一考察
—将軍の霊廟参詣における職務をめぐって—　大嶌　聖子
沖縄編年の状況と諸問題　伊藤　慎二
史料紹介　御霊神社文書　中世史部会

第二十号（一九九五・三）※在庫あり

大学院時代の雑話から　鈴木　靖民
〔特集「交通」〕
集落と交通　小川　岳人
古代出羽地方の対北方交流　簑島　栄紀
中世交通の諸相　中世史部会
伊能忠敬の測量行をめぐって
—通行と身分に関する一考察—　工藤雄一郎
新河岸川早船出入と川越街道継立村　辻崎　久哲
成田鉄道と成田山信仰　矢島　毅之

第二十一号（一九九六・三）※在庫あり

『続日本紀』と私　林　陸朗
東北地方における竪穴住居の出現　中野　拓大
『入唐求法巡礼行記』にみえる過所・公験　山岸　健二
戦国期の徳川氏と足利将軍　平野　明夫
高家衆と久我家　大嶌　聖子
山形土偶における属性と地域性
—頭部の属性を中心として—　森脇　淳
剥離痕をもつヤコウガイの蓋について　角田　真也
〔研究ノート〕
遣唐使の中の傔従（傔人）　伊藤　慎二

―『入唐巡礼行記』を中心に―　石野　雅彦

第二十二号（一九九七・三）※在庫あり

雑感「中里貝塚」　永峰　光一

藤原部の研究　清武　雄二

遺跡立地の環境考古学的研究と展望　菊池　真

縄文時代の貝採集領域についての一考察
―前期後半の多摩渓谷と鶴見渓谷を例に―　郡司　早直

〔史料紹介〕

史料紹介「住心院文書」　住心院文書研究会

第二十三号（一九九八・三）※在庫あり

大津事件露太子の傷痕　安岡　昭男

南洋群島における鳳梨産業の展開と「南洋庁移民」
―パラオ・ガルミスカン植民地（朝日村）の事例を中心として―　高村　聰史

賀川豊彦の移民論と宗教倫理　黒川　徳男

墨書土器から見た郡家遺跡
―その成立、展開と変容―　荒木　志伸

第二十四号（一九九九・三）※在庫なし

（翻訳）孫機「周代の組玉佩」　（訳）古屋　雅子

Olmecaの遺跡における彫刻品の配置とその機能
―Ssn Lorezo 遺跡を中心として―　古手川博一

古代越後・佐渡の遺跡立地と交通　戸根　貴之

第二十五号（二〇〇三・三）※在庫なし

処女論文発表の頃　今江　廣道

北野社の勧進と造営　米村　直之

三井銀行京都分店取付け事件に関する考察　金　基

〔研究ノート〕

遺告としての高野山御手印縁起　松永　勝巳

第二十六号（二〇〇一・三）※在庫なし

遣唐僧による請来目録作成の意義
―円仁の三種の請来目録を中心に　高橋　聖

豊臣「公儀」の確立と諸大名　矢部健太郎

〔研究ノート〕

幕末期薩摩の漁業振興策に関する覚書　橋村　修

第二十七号（二〇〇二・三）※在庫なし

柵状施設をもつ竪穴建物の性格（1）
―茨城県つくば市中原遺跡の事例分析から―　桐生　直彦

遺詔からみた日本古代王権　亀井健太郎

後頭部に継ぎ板を持つ横矧板鋲留衝角付冑について　片山　祐介

第二十八号（二〇〇三・三）※在庫あり

敦煌莫高窟の経変図配置より見た
八～十世紀の仏教受容について
―『天請問経』及び『天請問経疏』の写本の一分析―　十時　淳一

縄文土器の器形分化の解明への一試案　越川　欣和

第二十九号（二〇〇四・三）※在庫あり

慶長期徳川政権の領知宛行　種村　威史

〔活動報告〕

平成十五年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その1）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十号（二〇〇五・三）※在庫あり

遣唐官人の外国官兼帯について　立花　真直

越前松平家初期における家臣団の再考察
―今村盛次・本多富正・清水孝正らの政治的地位を中心に―
角　明浩

近世後期における下級武士の子どもの成長と家族　針山和佳菜

〔活動報告〕

平成十六年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その2）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十一号（二〇〇六・三）※在庫なし

國學院で学んだこと　二木　謙一

平安時代の銭貨政策の変化
―灌仏における布施との関連から―　河野　保博

近世後期多摩川における領主普請
―多摩郡和泉村を事例に―　榎本　博

縄文時代後期前半期の土器被覆葬　中村　耕作

平成十七年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その3）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十二号（二〇〇七・三）※在庫あり

古代史と現代をつなぐもの　金子　修一

元正天皇即位の背景とその意義　石和田京子

古墳時代における文物拡散の覚書　田中　大輔

〔活動報告〕

平成十八年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その4）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十三号（二〇〇八・三）※在庫あり

久米島清水貝塚出土の貝斧
—貝斧の起源と製作の背景（予察）— 大堀　皓平

〔研究ノート〕

日本古代の「大行天皇」 中里恵理子

「陣公事」に関する基礎的考察 堀江美樹子

〔活動報告〕

平成十八年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その5）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十四号（二〇〇九・三）※在庫あり

研究の原風景 吉岡　孝

正徳新例前後の長崎における抜荷の主体変化と町の展開
—犯科人による近世長崎の編成— 橋本　賢一

九州地方の風土記逸文に関する史料性 犬丸慎一郎

〔活動報告〕

平成十八年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その6）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十五号（二〇一〇・三）※在庫あり

満州事変勃発後の
「宣統帝ヲ頭首トスル支那政権」案について 樋口　秀実

「土師」と土器の貢
中世後期在地寺院の収取の特質について
—二つの天台系寺院を素材として— 溝口　優樹

〔史料紹介〕

史料紹介『綱光公記』自文安五年八月一日至九月二十九日 窪田　涼子

〔活動報告〕

平成十八年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その7）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十六号（二〇一一・三）※在庫僅少

東宮の構造とその機能
—平安初期を中心として— 三輪　仁美

土偶の表情にみる人の世間性
—先史社会の考古学から「世間」の考古学へ— 久保田健太郎

シュードカラー画像を用いた古代道路検出の方法 朝倉　一貴

〔活動報告〕

平成十年度國學院大學田子家文書研究会活動報告
～陸奥国磐前郡上三坂村田子家文書目録（その8）～
國學院大學田子家文書研究会

第三十七号（二〇一二・三）※在庫あり

私の古代史探究の歩み
—最近考えることを中心に—　鈴木　靖民

中世前期東国の村落構造と村役所の機能
—鹿島神宮文書「大村検注取帳副日記」の分析を通して—　高橋　裕文

古代彫刻における Venus Anadyomene の類型について　小川　滋子

第三十八号（二〇一三・三）※在庫あり

学生のころ　山﨑　雅稔

ヤコポ・ダ・ポントルモの〝物語画〟
—空間表現から時間経過を読み解く—　児矢野あゆみ

第三十九号（二〇一四・三）※在庫あり

白雉四年の第二次遣唐使選定をめぐって　西村健太郎

〔研究ノート〕

平安初期における下級官人の任用形態　渡辺美紗子

〈悲しみの人〉図像の類型について　長谷川久美

第四十号（二〇一五・三）※在庫あり

太上天皇御幸の特色とその変遷　中村　和樹

〔史料紹介〕

唐張九齢『曲江集』勅書内容総覧—巻八—　『曲江集』勅書を読む会

第四十一号（二〇一七・三）※在庫あり

セルフ・コントロール、セルフ・プロデュース　矢部健太郎

安政の大獄後における朝幕の動向と関白九条尚忠
—議奏退役問題との関連—　岡谷　成康

〔資料紹介〕

唐張九齢『曲江集』勅書内容総覧—巻九—　『曲江集』勅書を読む会

〔史料注釈〕

注釈『入唐求法巡礼行記』巻三
—開成五年（８４０）七月二十六日～八月十三日条—　柳田甫・伏見和也・三輪仁美